

◇仙台市天文台

1 は仙台市西公園の一角を占める仙台市天文台のドームで、前庭に見えるのは鉄骨フレームで作った天球模型である。フレーム構造の上は白、下は黒とぬり分けてあるが、この境が地平面を示している。下の基盤の円の中央で、この地平面上に目をおいて見ることにする。2 は 40 cm 反射赤道儀で、本誌 117 頁の佐藤氏によるヘルクス座新星のスペクトルは、この反射鏡に天文台の自作の分光器を付けて写したものである。

